

ILASセミナー：ヒトに常在する微生物を知ろう(2)

[履修要件]

生化学の基礎知識（高校の「生物基礎」レベル）の修得が望ましいが、熱意をもって実験できれば受講可能である。

[成績評価の方法・観点]

平常点（出席状況と実験に取り組む姿勢）（約20%）、成果発表（約30%）、及びレポート（約50%）により評価する。

[教科書]

適宜、資料を配付する。

[参考書等]

（参考書）

阪井 康能・竹川 薫・橋本 渉・片山 高嶺(編著)『遺伝子・細胞から見た 応用微生物学』（朝倉書店・2020年）ISBN:978-4-254-43124-7

[授業外学修（予習・復習）等]

配付資料に目を通し、理解を深める努力をする。特に、実験に関して、予め手順を確認し、スムーズに実施できるようにする。また、実験後にデータを取り纏めて考察する。

[その他（オフィスアワー等）]

安全に実験を行うため、履修人数を制限する。

実験を行うため、学生教育研究災害傷害保険等の傷害保険に加入する必要がある。

授業中、わからないことについては積極的な質問を期待する。

連絡方法は電子メールにより行う。

微生物の分類にインターネットを用いる。

成果発表にはPowerPointを用いる。

採点報告日（8月中旬）以降に実施するため、成績報告が遅れる可能性がある。